

- ・多くの生き物との出会い
- 田んぼの生き物調べ
- ・新川中部農免農道
- ・所長挨拶
- ・改良区紹介(早月川沿岸)

新川水土里たより

創刊号
平成21年9月15日
新川農林振興センター
指導課 電話(0765)22-9138
〒937-0863 魚津市新宿10-7

多くの生き物との出会い 田んぼの生き物調べ

去る7月25日(土)曇は、雨天対応の解説講習会として初めて取り組んだ。滑川市赤浜地内赤浜川で滑川市立南部小学校児童19名、保護者先生6名の参加でタカハヤ、アメンボウ、カワニナ、ヤゴなど、ヨウナなどを捕獲し魚津水族館学芸員に解説してもらいました。

8月1日(土)雨天、魚津市東城地内親子川で朝から雨が強く降り魚津市立片貝小学校児童15名、保護者先生13名の参加により学習ホールで、魚津水族館学芸員に「富山の田んぼの生き物」を映写解説してもらい、あらかじめ「親子川で捕獲しておいた水棲生物と緑イボカエル」の展示観察があり、児童の展示観察があり、児童の目は輝かせていました。



滑川市赤浜地内赤浜川
つかまえたよ

今年、二市一町の三ヶ所を実施することができました。いずれの会場も盛況で参加者の皆さんに喜んで自然に接していただき、実施場所の選定には苦慮しており、皆様からの情報提供をお願いしました。今回、ご協力をいただいた市町、改良区の方々に感謝いたします。

新川中部農免農道 朝日・黒部間 供用開始

農免農道整備事業新川中部地区(平成15年度〜平成20年度)全長11.8、12.5(朝日町柳田地内、黒部市若栗地内)が完成し、供用が開始されました。北陸新幹線に並行して延びる直線道路です。

また、暑い日射しの下、新幹線橋脚の日陰をお散歩コースとして利用される地元の方の姿もよく見られました。



新川中部農免農道
北陸新幹線と並行区間

農道に変更され、基幹農道新川中部二期地区となり朝日町で小川橋梁下部工・上部工事、黒部市で道路工事を施工する予定です。(農地整備第二班 辰尾)

地域振興の中心的存在として! 所長挨拶

魚津農地林務事務所が、普及部門と統合し、再編されて、早一年半が経とうとしております。

皆様には、「新川農林振興センター」という名前を覚えていただいているでしょうか?

今回、土地改良関係の情報交換の一環として、この「たより」を発刊することになりました。お気軽にご意見をいただきましたと考えております。

さて、土地改良と言えば、以前は農業の基盤整備でしたが、近年では、



新川農林振興センター
所長 永森 雅之

地域政策・地域振興のリーダーとしての役割が期待されております。

これは、地域振興をする際に話し合い・協力し合って物事を進める姿勢が特に重要であり、そして、話し合いの進め方は、ほ場整備事業などをしっかりやってきた土地改良の方々が会得している手法だからです。



早月川沿岸土地改良区の養輪頭首工と
施設管理係 飛 亜希史さん

改良区紹介 早月川沿岸土地改良区

早月川沿岸土地改良区への対策に備えます。

は、滑川市・魚津市・富山市の受益二、八〇三へおいて浸水被害が発生した。このように事態を避けるために、市役所や消防署と連携し、中山間地域直接支払制度最大取組十三、五二立方メートル毎秒を取水観測記録の収集・分析を対策及び耕作放棄地対策し、農業用水へのほか落行い、早期対応に心がける一層の推進を図ります。

早月川養輪頭首工から、この関係機関と連携し、中山間地域直接支払制度最大取組十三、五二立方メートル毎秒を取水観測記録の収集・分析を対策及び耕作放棄地対策し、農業用水へのほか落行い、早期対応に心がける一層の推進を図ります。

今年、梅雨期は長雨十時十六時に「とやまト事業として平成18年度となりましたが幸い大事から平成20年度までの三には至りませんでした。

研修会などの開催案内

◎平成21年9月30日(水) 十時〜十三時半に第2回「元氣とやま」むらつくり推進大会が県民会館ホールと1階ロビーで開催されます。

◎平成21年10月14日(水) 十時〜十六時に「とやまト事業として平成18年度となりましたが幸い大事から平成20年度までの三には至りませんでした。

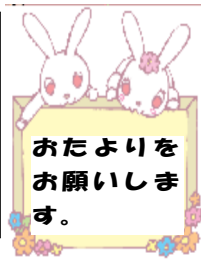


魚津市小菅沼でのヤギによる「舌刈」

◎第21回農村振興技術連盟写真展作品募集
「魅せませす」とやまの水土里」募集期限平成21年12月10日(木) 皆さんふるってご応募下さい。高価景品が当たりますよ。

編集後記

今年2009年は、国の内外を問わず激動の年となっております。



農業農村事業においても変革が予想され我々の置かれる立場も新たな対応が要求されるかもしれません。

各種情報の中から優れたものを吸収し役立てることが望まれています。

そこで今回、土地改良関係の広報・広聴の一環として「新川水土里たより」を発刊し、情報の交換を企画しました。

田んぼの稲はそろそろ刈取りを迎えています。

今年の梅雨は、当初真夏日になり今後どうなるのかと思いきや、例年の梅雨明け時期になっても明ける気配はありませんでした。農作物の生長に支障が生じ、今年は冷夏の影響が出ないかと心配しています。

日本各地で異常気象による災害が発生しました。今後、何事もなく収穫が出来ることを祈ります。

「たより」の話題・情報提供願います。

(イイタ記)